

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-96	中学校	国語科	書 写	第1・2・3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 703	中学書写		

1. 編修の基本方針

本書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～5号）」と中学校学習指導要領国語科の〔我が国の言語文化に関する事項〕に示されている指導内容を、実際の学習活動をとおして文字への関心を深め、文字を正しく整えて速く書く能力を高めながら、確かな書写力が育成できるよう編修・執筆しました。

1. 基礎・基本を確実に習得し、確実な定着を図る。

「姿勢や持ち方」「基本点画の筆使い」「行書の基本的な書き方」「効果的な文字の書き方」などの書写学習の基礎・基本を習得することで、生徒が将来にわたって幅広い知識と教養を身につけるとともに「生きる力」を培えるように配慮しました。

2. 日常生活に生きてはたらく書写力を育成し、 学習効果を活用していこうとする意欲を育てる。

日常生活や学習活動における「生きてはたらく確かな書写力」が育成できるように教材構成をしています。主体的に社会の形成者として寄与する態度を養えるよう配慮しました。

また、「学習を生かして書く」「学習活動や日常生活に生かして書こう」「書式の教室」では、他教科の学習活動や日常生活との関連に配慮しました。

3. 書写学習をとおして思考力・判断力・表現力を養い、 主体的に学習していくことができる力を育成する。

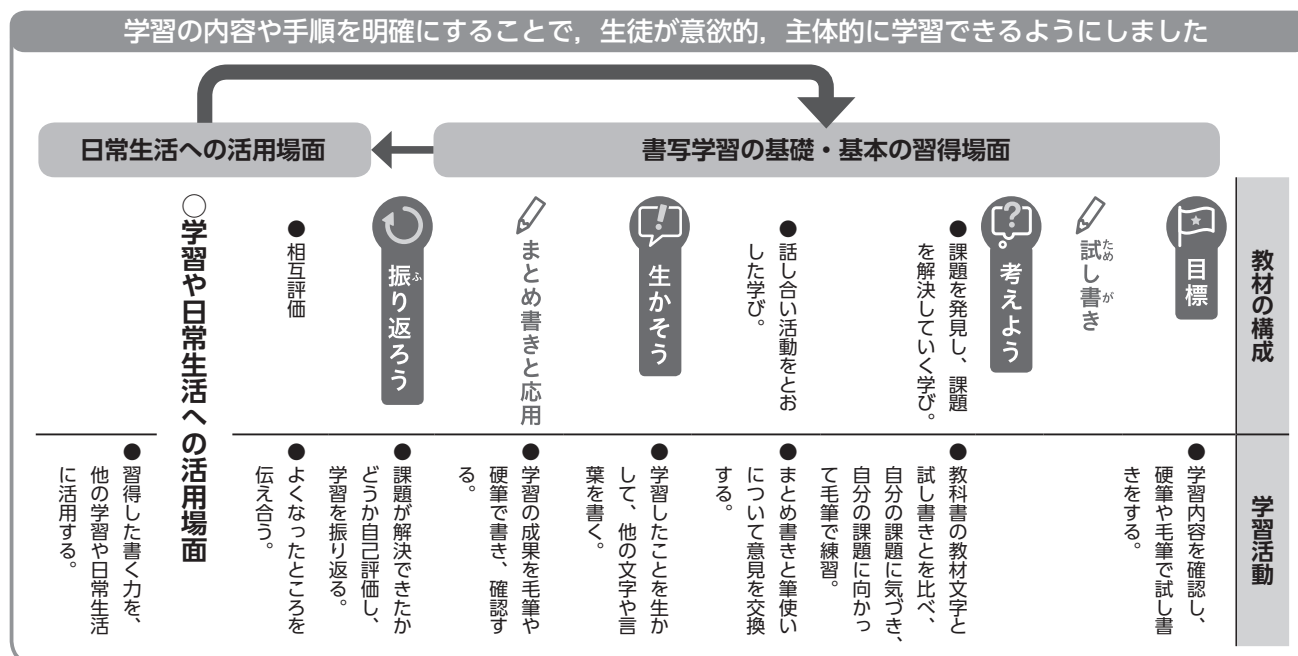
学習過程を明確にすることで、学習者が自ら考え、主体的に学んでいく力を養うことができるように教材内容を工夫しています。教材の言葉として、自他を尊重することや、人権に配慮すること、自然を大切にすること、伝統と文化を尊重する態度を養うことに配慮しました。

編修の留意点

① 幅広い知識と教養を身につける。

書写学習の基礎・基本をおさえ、確実に書く力を養い、学習や社会生活に活用できる力を養います。

特に、各単元においては、硬筆・毛筆との関連学習や系統的・段階的な学習が進められるように配慮し、日常の書写活動に生かすために必要な基礎的・基本的な能力を育成できるよう編修しました。



② 伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心情を育てる。

各学年の硬筆教材は、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心情を育てられるよう配慮しました。

また、伝統的な書式の「色紙」「短冊」も適宜取り扱い、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。



▲1年 p.28～29 「3 学習を生かして書く」



▲1年 p.68～70 「3 文字の大きさや配列」

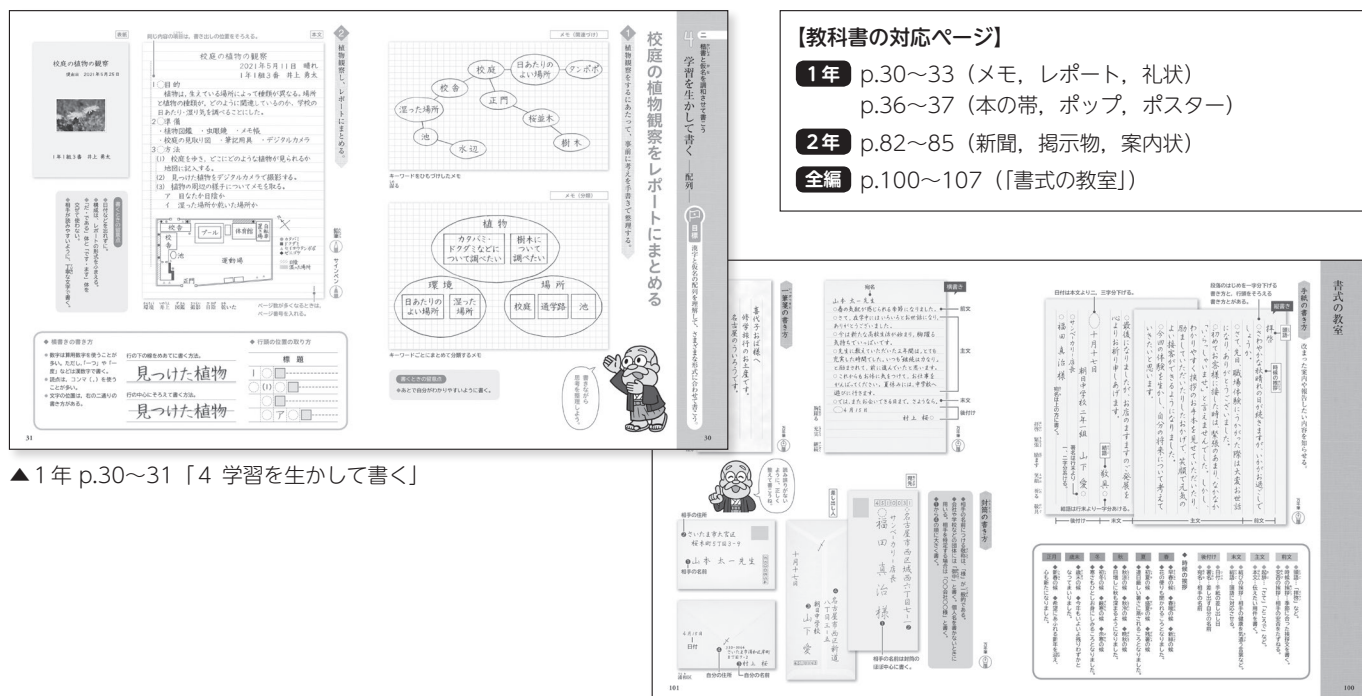
【教科書の対応ページ】

- 1年 p.24～25 「いろは歌」、p.28～29 「竹取物語」
- 2年 p.66～67 「いろは歌」、p.69 色紙「論語」、短冊「短歌」、p.74～75 「枕草子」p.76～77 「平家物語」
- 3年 p.92～93 「おくのほそ道」

③ 日常生活に生きてはたらく書写力を育成する。

1年生では、さまざまな学習活動や社会生活に生かせるように、書写の学習内容に沿った礼状、レポート、ポスター、本の帯やポップなど豊富な教材を掲載しています。

2年生では、新聞、掲示物、案内状などの例を「学習を生かして書く」の中で取り扱っています。巻末には「書式の教室」として、中学校生活や社会生活に必要な手紙、封筒、一筆箋、年賀状、はがき、往復はがき、包み紙、エアメール、原稿用紙、小包伝票、願書、志願理由書などの書き方を取り扱い、主体的に社会の形成に参画する力を養うことができるようにしました。



▲1年 p.30～31 「4 学習を生かして書く」

▲全編 p.100～107 「書式の教室」

2. 対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第一学年 一 楷書で書こう 二 楷書と仮名を調和させて書こう 三 行書で書いてみよう 書き初めを書く 第二学年 一 行書で書こう 二 行書と仮名を調和させて書いてみよう 書き初めを書く 第三学年 一 行書を深めよう 二 行書と仮名を調和させて書こう 書き初めを書く	○書写学習の基礎・基本を習得することで、幅広い、知識と教養を身につけられるよう配慮しました。〈第1号〉 ○学習過程を明確にすることで、生徒が意欲的、主体的に学習できるよう配慮し、学習の能力を高められるよう配慮しました。〈第2号〉 ○確かな書く力を養うことにより、主体的に社会の形成者として寄与する態度を養えるよう配慮しました。〈第3号〉 ○教材の生徒名、キャラクターの役割、比率は、男女の平等に配慮しました。〈第3号〉 ○教材の言葉は、生命を尊ぶ心の育成や、自然、環境を意識できるよう配慮しました。〈第4号〉 ○古典教材を取り扱うことで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛することに配慮しました。〈第5号〉 ○「課題選択教材」を用いることで、自らが課題を設定し、解決に向けて取り組めるよう配慮しました。〈第2号〉	(全般) p.14~21 p.24~53 p.129~132 p.58~63 p.64~67 p.133~136 p.88~89 p.90~91 p.137~140 p.98~99
第一学年 二 楷書と仮名を調和させて書こう 第二学年 二 行書と仮名を調和させて書いてみよう 三 学習活動や日常生活に生かして書こう 第三学年 三 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう コラム、資料等	○書写で習得した能力を他の学習や社会生活に活用できるよう配慮し、掲示物（ポスター）や新聞、礼状、案内文などを取り上げています。〈第3号〉 ○教材の生徒名、キャラクターの役割、比率は、男女の平等に配慮しました。〈第3号〉 ○教材の語句例、文例は、生命の尊重、環境の保全を促すよう配慮しました。〈第4号〉 ○筆・墨・硯・紙の作り方、生産地を知ることにより、日本の文化への関心が高まるよう配慮しました。〈第5号〉 ○日本の文字の歴史を取り扱うことにより、我が国の伝統と文化を尊重できるよう配慮しました。〈第5号〉 ○長らく伝わってきた日本の文字を鑑賞することにより、伝統と文化を尊重できるよう配慮しました。〈第5号〉 ○学習してきた書写の力が社会の中でどのように活用されているかを知ることにより、社会の形成に参画する意欲を促すよう配慮しました。〈第3号〉	(全般) p.30~37 p.68~85 p.94~99 p.22~23 p.38~39 p.56~57 p.80~81 p.54

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

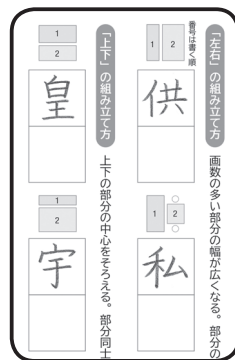
本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された義務教育の目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

☆特色1

ユニバーサルデザインへの配慮

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色（カラーユニバーサルデザイン）やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

解説図版は、全ての生徒にとって学びやすいよう配色やレイアウトに工夫をしています。



▲1年 p.20
「3 学習を生かして書く—字形、筆順—」

☆特色2

地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

また、生徒の負担に考慮し、本文用紙の軽量化を図りました。

☆特色3

小学校書写との関連を大切にしています。 (小・中関連)

小学校で学習してきた「基本点画」「筆圧」「穂先の動き」などの学習は、第1学年の最初で復習できるようにしています。

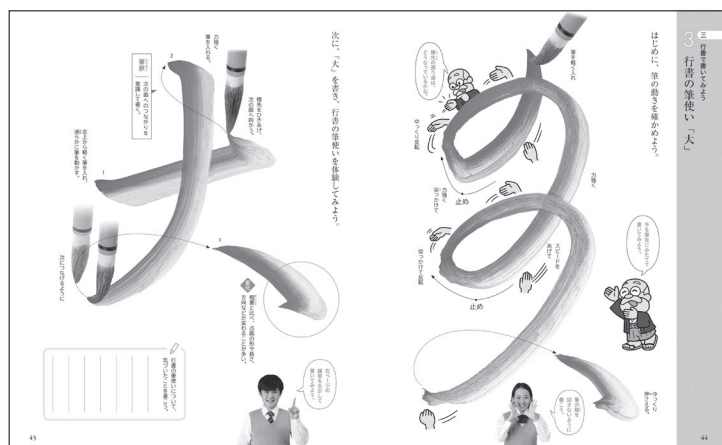


▲1年 p.14~15 「1 筆使い—基本点画—」

☆特色4

鮮明な図版と詳しい解説により 毛筆学習をサポートします。

中学校で初めて学習する行書は、行書学習特有の穂先の動きや筆の運びがわかりやすいように、二色の薄墨による解説図版を掲載しています。



▲1年 p.44~45 「3 行書の筆使い「大」」

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-96	中学校	国語科	書 写	第1・2・3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 703	中学書写		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 基本方針

実際の学習活動をととして、書写の基礎・基本の確実な定着を図るとともに、学習したことをさまざまな場面で活用していく中で、書写を学習する意義や楽しさが感じられるように、以下のような方針のもと編修にあたりました。

- ① 基礎・基本を徹底し、確実な定着を図ります。
- ② 学習や社会生活に活用できる力を養います。
- ③ 自らが考え、主体的に学習できる力を養います。

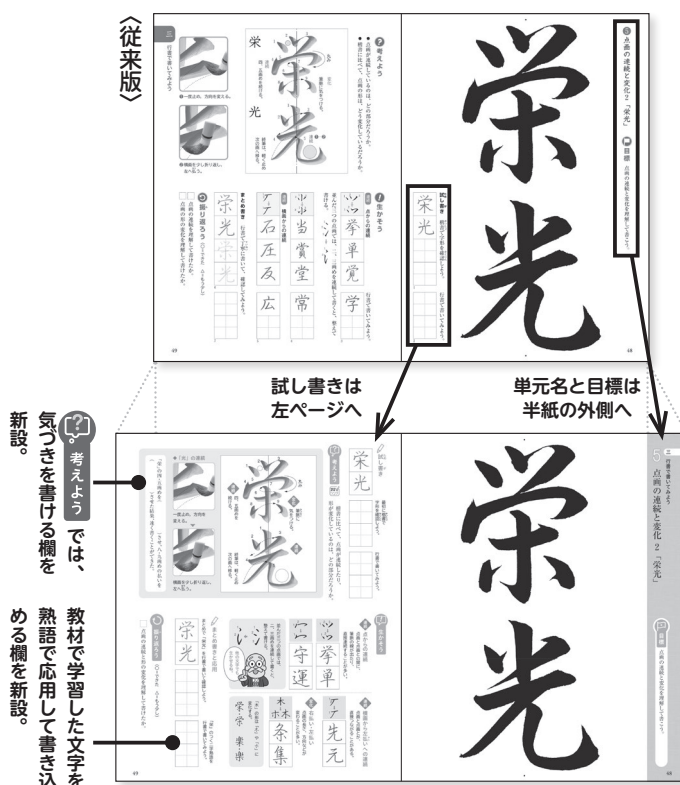
2 本書の特色

構成の特色

本書は、書写学習の基礎・基本をおさえ、確実に書く力を養い、学習や社会生活に活用できる力を養います。

紙面を AB 判にすることで、従来、毛筆手本の紙面に入り込んでいた「単元名」「目標」のタイトル部分を、拡大した外側部分に移すことにより、半紙形のイメージを大切にすることができるようになりました。

また、学習内容や手順を大きく見開きで示し、明確にすることで、生徒が意欲的、主体的に学習できるようにしました。



▲ p.48～49 「栄光」

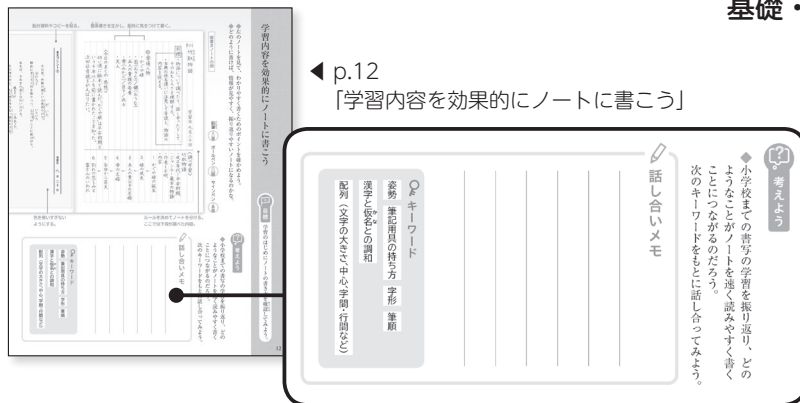
○「どのように学ぶか」学習の見とおしがもてる教科書

巻頭に「学習の進め方」を収録しました。生徒の書字例や活動写真を示すことで、自分の課題を解決していくための具体的な方法がわかり、意欲的、主体的に学習できます。既習の学習を振り返りやすく、巻末の資料を学年で共通して使用することができ、また、系統的に学びやすく学習に見とおしがもてるように配慮しました。



基礎・基本の習得場面

▲ p.8～9 「学習の進め方」



○随所に「話し合い活動」や気づいたことを書き込ませる書き込み欄を新設

話し合いの交流活動や気づいたことの書き込み欄を設定することで、「主體的、対話的で深い学び」への学習効果がはかれます。

内容の特色

① 教科書の学びが、広がる、深まる「まなびリンク」

学習に役立つ情報を集めたウェブサイトです。教科書に掲載された QR コードや URL でページにアクセスするだけで、毛筆教材の運筆動画を見ることができ、運筆のリズムや字形のとり方を確認することができます。



▲p.3 目次

② 小学校との関連を大切にしています。

(小・中関連)

小学校で学習する「基本点画」「筆圧」「穂先の動き」などの学習は、１年生の第一教材で復習できるようにしています。



③ 鮮明な写真図版と詳しい解説により毛筆学習をサポートします。

中学校で初めて学習する行書は、行書特有の穂先の動きや筆の運びがわかりやすいように、二色の薄墨による解説図版を掲載しています。教材の書風は、硬筆・毛筆ともに自然な筆使いで、中学生にとってふさわしく、学びやすい書風です。硬毛関連学習にも十分配慮して、執筆しています。



▲ 1 年 p.46~47 「大木」

【教科書の対応ページ】

- 1年** p.14～15 1 筆使い—基本点画— p.16～17 「天地」
p.24 「いろは歌」 p.44～45 3 行書の筆使い「大」
p.46 「大木」 p.48 「栄光」 p.50 「平和」
- 2年** p.58 「初志」 p.60 「深緑」 p.64 「喜びの声」
- 3年** p.88 「創造」 p.90 「美しい自然」 「 」内は毛筆教材名

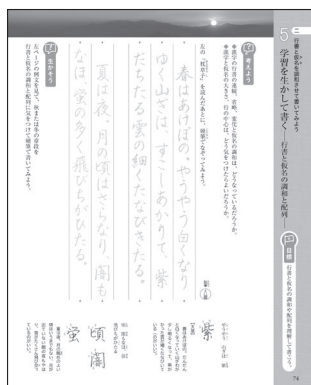
④ 国語と関連した授業計画が可能です。

各学年の硬筆教材は、国語との関連をいっそう緊密にし、文学作品や古典などから取材しています。また、学習を深める観点から小説家や詩人などの自筆の文字を扱っています。

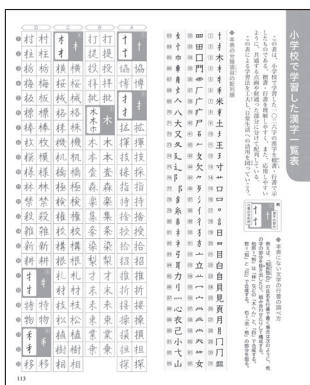
我が国の文字文化の関連から、平仮名のもとになった漢字（字源）について取り上げています。

行書学習を習得，活用しやすいように，巻末には，小学校で学習した 1,026 字の漢字，ならびに中学校で学習する 1,110 字の漢字を，いずれも手書きによる行書で示しています。

▼2年 p.74~75 『枕草子』



▼全編 p.113~125 漢字一覽表



【教科書の対応ページ】

- 1年** p.①～1 詩「ふしぎ」金子みすゞ p.28～29『竹取物語』
2年 p.68 短歌 p.69『論語』孔子の言葉 p.72～73『走れメロス』
p.74～75『枕草子』 p.76～77『平家物語』
3年 p.92～93『おくのほそ道』
全編 p.144 短歌、俳句 「 」「 」「 」「 」内は教材名

⑤ 書写学習で習得した能力を、他の教科の学習や社会生活に活用する力を養います。

1年生では、さまざまな学習活動や社会生活に生かせるようにテーマに沿ったレポート、手紙、本の帯やポップ、ポスターなど、豊富な教材を掲載しています。

また、2年生では、案内文、報告文、掲示物などの言語活動例を「どのように書くと読みやすく相手に伝わるか」について取材しています。

3年生では、身のまわりの多様な文字を「1 多様な表現による文字」で習得し、それを「2 三年間の学習の成果を生かそう」で活用する構成になっています。

▼1年 p.34~35 「季節の行事と書写」



【教科書の対応ページ】

- | | |
|-----------|---|
| 1年 | p.30～33 レポート、手紙 p.34～35 「季節の行事と書写」
p.36～37 本の帯、ポップ、ポスター |
| 2年 | p.78～79 「1 さまざまな書く場面」
p.82～85 新聞、掲示物（ポスター）、案内状 |
| 3年 | p.94～97 「1 多様な表現による文字」
p.98～99 「2 三年間の学習の成果を生かそう」 |
| 全編 | p.100～107 手紙、封筒、一筆箋、年賀状、はがき、往復のはがき、
包み紙、エアメール、原稿用紙、小包伝票、願書、志願理由書 |

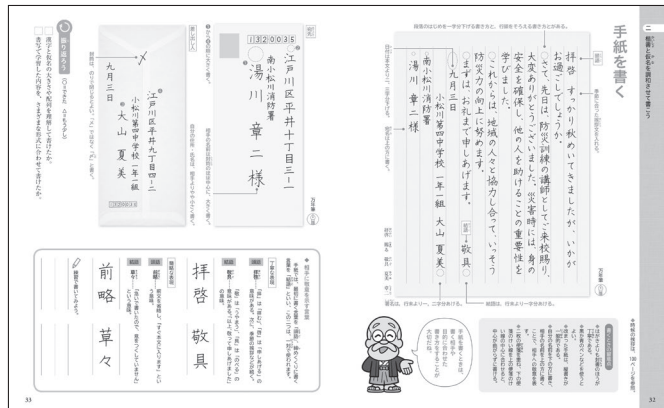
⑥ 学習者の文字への興味・関心を高めるよう工夫しています。

本書では、学習者の文字への興味・関心を高めるために、古くから伝わる伝統的な文字を取り上げています。

1年生では、書写の題材や素材に防災・環境への取り組みをしています。また、文字文化についても1、2年生で取り組んでいます。キャリア教育についても取り扱っています。

3年生では、高校への円滑な接続を図るために「芸術としての書道」を設けています。

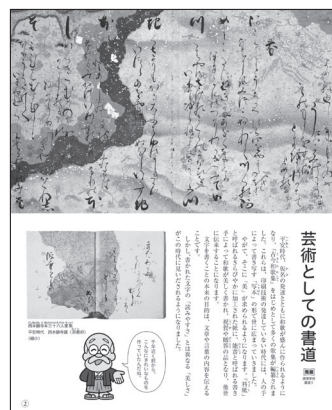
▼【防災・環境教育】1年 p.32～33「手紙を書く」



▼【文字文化】1年 p.22～23「筆、墨、硯、紙について知ろう」



▲【キャリア教育】1年 p.54 「暮らしの文字を支える人々」



▲【高校への接続】3年 p.② 「芸術としての書道」

【教科書の対応ページ】

○防災・環境教育

1年 p.32～33「手紙を書く」

2年 p.84「2 掲示物（ポスター）に案内を書く」

○キャリア教育

1年 p.54「暮らしの文字を支える人々」

○高校への接続

全編 「芸術としての書道」

○文字文化

1年 p.22～23「筆、墨、硯、紙について知ろう」

p.38～39「文字の変遷」 p.40「1 行書学習のはじめに」

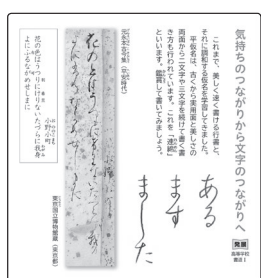
2年 p.56～57「あの人が残した文字」

p.80～81「日本建築と「書」」

⑦「個」に応じた学習にも対応しています。

生徒が興味をもって取り組み、生徒自身が主体的に学習し、深めていくことができるように、3年生では「選択課題」教材を設けています。また、一人一人の習熟度、課題に合わせて教材を選び、学習を主体的に進めることができるよう、「補充教材集」には11教材の毛筆教材を設けています。「個」に応じた学習にも対応できるよう、「発展」教材を2年生、3年生に設けています。

▼【発展教材】2年 p.67 「気持ちのつながりから 文字のつながりへ」



▼【補充教材集】 全編 p.141 「出発」「実現」 「広がる世界」 「古典に学ぶ」

▼【選択課題教材】3年 p.98～99 三年間の学習の成果を生かそう



【教科書の対応ページ】

○選択課題教材

3年 p.98～99 2 三年間の学習の成果を生かそう

○補充教材集

p.141～144 「出発」「実現」「広がる世界」「古典に学ぶ」
「名作」「理想」「雲海」「開花」「有終完美」「旅立ちの朝」
「よい言葉の一つは多くの本の一冊に勝る」色紙・短冊

○発展教材

2年 p.67「気持ちのつながりから文字のつながりへ」
p.70～71「短冊と色紙」 p.86「書の古典の鑑賞」

3年 p.②「芸術としての書道」

2. 対照表

1 年生用 (20 時間)

教科書の単元配列	配当 時数	学習指導要領 の内容	ページ
詩「ふしぎ」 金子みすゞ	適時	ア	①・1
目次	適時	ア、イ	2・3
□目的に合わせて書こう	適時	ア、イ	4・5
□姿勢と用具の使い方	適時	ア、イ	6・7
□学習の進め方	適時	ア、イ	8・9
□書写をとおして学んでいくこと	適時	ア、イ	10
扉 第一学年	適時	ア、イ	11
□学習内容を効果的にノートに書こう	適時	ア、イ	12・13
一 楷書で書こう	【4】		
1 筆使い——基本点画——		ア	14・15
2 筆使いと字形「天地」		ア	16～19
3 学習を生かして書く——字形、筆順——		ア	20・21
□筆、墨、硯、紙について知ろう	適時	ア、イ	22・23
二 楷書と仮名を調和させて書こう	【4】		
1 筆脈「いろは歌」		ア	24・25
2 楷書に調和する仮名「いろは歌」		ア	26・27
3 学習を生かして書く——行の中心—— 「竹取物語」		ア	28・29
4 学習を生かして書く——配列—— 校庭の植物観察をレポートにまとめる 手紙を書く		ア ア	30・31 32・33
□季節の行事と書写		ア	34・35
5 学校生活に生かして書く お薦めの本の帯やポップを作る ポスターを書く	適時 適時	ア ア	36 37
□文字の変遷	適時	ア、イ	38・39
三 行書で書いてみよう	【9】		
1 行書学習のはじめに		イ	40・41
2 楷書と行書の違い「和」		イ	42・43
3 行書の筆使い「大」		イ	44・45
4 点画の連続と変化1「大木」		イ	46・47
5 点画の連続と変化2「栄光」		イ	48・49
6 点画の連続と省略「平和」		イ	50・51
7 学習を生かして書く——行書の特徴——		イ	52・53
□暮らしの文字を支える人々	適時	ア、イ	54
□書き初めを書く 「新たな決意」「世界遺産」	【3】	ア、イ	129～132

学習指導要領の内容は、(3) 我が国の言語文化に関する事項の書写の事項。

2 年生用 (20 時間)

教科書の単元配列	配当 時数	学習指導要領 の内容	ページ
扉 第二学年	適時	ア、イ	55
□あの人が残した文字	適時	ア、イ	56・57
一 行書で書こう	【6】		
1 点画の省略「初志」		イ	58・59
2 筆順の変化「深緑」		イ	60・61
3 学習を生かして書く——行書の特徴——		イ	62・63
二 行書と仮名を調和させて書いてみよう	【7】		
1 行書と仮名の調和「喜びの声」		ア	64・65
2 行書に調和する仮名「いろは歌」		ア	66・67
3 文字の大きさと配列		ア	68～70
□短冊と色紙	適時	ア	71
4 書く速さを意識して書く『走れメロス』		ア	72・73
5 学習を生かして書く——行書と仮名の 調和と配列——『枕草子』『平家物語』		ア	74～77
三 学習活動や日常生活に生かして書こう	【4】		
1 さまざまな書く場面		ア、イ	78・79
□日本建築と「書」	適時	ア、イ	80・81
2 学習を生かして書く 新聞を書く		ア、イ	82・83
掲示物（ポスター）に案内を書く		ア、イ	84
案内状を書く		ア、イ	85
□書の古典の鑑賞	適時	ア、イ	86
□書き初めを書く 「生命の尊重」「伝統の継承」	【3】	ア	133～136

3 年生用 (10 時間)

教科書の単元配列	配当 時数	学習指導要領 の内容	ページ
扉 第三学年	適時	ア	87
一 行書を深めよう	【2】		
1 点画の変化と連続「創造」		ア	88・89
二 行書と仮名を調和させて書こう	【3】		
1 行書と仮名の調和「美しい自然」		ア	90・91
2 学習を生かして書く——配列—— 「おくのほそ道」		ア	92・93
三 身のまわりの多様な表現をとおして 文字文化の豊かさにふれ、効果的に 文字を書こう	【2】		
1 多様な表現による文字		ア	94～97
2 三年間の学習の成果を生かそう		ア	98・99
□書き初めを書く 「友好の精神」「真理の探究」	【3】	ア	137～140
□書式の教室	適時	ア	100～107
書写テストで確認	適時	ア	108・109
□小学校で学習した漢字一覧表	適時	ア	113～119
□中学校で学習する漢字一覧表	適時	ア	119～125
漢字一覧表索引	適時	ア	126～128
□補充教材集	適時	ア	141～144
□芸術としての書道	適時	ア	②

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-96	中学校	国語科	書 写	第1・2・3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 703	中学書写		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
67	気持ちのつながりから文字のつながりへ	2	第2学年 ア 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して, 読みやすく速く書くこと。	1
71	短冊と色紙	2	第2学年 ア 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して, 読みやすく速く書くこと。	1
86	書の古典の鑑賞 ^{かんしやう}	2	第2学年 イ 目的や必要に応じて, 楷書又は行書を選んで書くこと。	1
②	芸術としての書道	2	第3学年 ア 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ, 効果的に文字を書くこと。	1
合 計				4